

「ごきげんなすてご」 いとう ひろし 徳間書店 ＜いと・幼日＞ わたしに おとうとが できた。 みんな、おとうと ばかり かわいがるから、お とうと なんて 大きい。そうだ、家出^{いえて}して、す てごになって、大金持^{おおがねも}ちの家^{いえ}にもらわれよつと。 きっと いいくらしが まってるはず！？	本の森 ＜小学1・2年生編＞ [※ホームページ版は、表紙画像を掲載していません。] 香芝市民図書館 H31. 03	「ピーポポ・パトロール」 柏葉 幸子 童心社 ＜かし・幼日＞ ひとしが、フリーマーケットで 買^かってもらった パトカー は、夜^{よる}になると 大きくなって、ひとしが のると、夜^{よる}の空^{そら} へ 飛^とび出^だした。 パトカーは がっこうへ 行^いったんだけど、そこで 出^で 会^あったのは、なんと おばけだった！	「みどりいろのたね」 たかどの ほうこ 福音館書店 ＜たか・幼日＞ まあちゃんの クラスは、はたけに たねを ま きました。つちをたがやし、みどりいろのたねを 5つ、うめます。まあちゃんは、なめていた みど りいろのあめ玉も いっしょにうめました。さて、 まあちゃんは、水やりを しなかったので、たね は のどがカラカラ。何日^{なんにち}たっても、根^ねも芽^めも出な い、あめ玉をなめてみることに…。
「うみのないしょだけど ほんとだよ」 竹下 文子 ポプラ社 ＜たけ・幼日＞ うみに 住^すんでいる 魚^{さかな}やイルカ、エビたちは、 とっても おもしろくて、楽^{たの}しい くらしを してる んだ。うそだと 思^{おも}ったら、この本を のぞいて みてね。 ないしょだけど、ほんとだよ。	「にせもののばんざい」 寺村 輝夫 理論社 ＜てら・幼日＞ ある日、王さまは、となりの国^{くに}の王さまとオートバイの きょうそうを することになりました。王さまは オートバイ に 乗^のったことはありません。1ヶ月間^{かげつかん} れんしゅう するこ とに なりましたが、なまけてばかりで、いつまでたっても うまく乗^のれません。そこで、王さまに そっくりなコックさん が にせものとして、となりの国^{くに}の王さまと きょうそう さ せることに なりました。	「たんたのたんてい」 中川 李枝子 学研 ＜なか・幼日＞ ある日のこと、いつものように、たんたが ゆうびん受^う けの しんぶんを と 取り^いに行くと、しんぶんの 代^かわりに つかいかけの チューブが 入^いっていました。 たんたは、「たんてい」になって このなぞを とうとう しますが…	「どれみふあけろけろ」 東 君平 あかね書房 ＜ひが・幼日＞ がっこうのプールの日、泳^{およ}げない たけしくん は、「カエルになりたいなあ」と言ったばかりに、 ほんものの カエルの がっこうに入^いることに なっていました。はたして たけしくんは、泳^{およ} げるように なるのでしょうか？
「かみなりのちびた」 松野 正子 岩崎書店 ＜まつ・幼日＞ ひろしが、おなかを出^{ひるね}して昼寝^{ひるね}をしていたら、 「かみなりのちびた」が おへそを取りに やっ て来^きた。ちびたのツノが ぴかぴかと光^{ひか}ると、 雲^{くも}ひこうきの きょうそうで 一^{いち}番^{ばん}になったり、う んどう会^{かい}や たこあげで 大かつやく した り…。まほう みたいに いろんなことが 起^おこ るんだ。	「ばん 「番ねずみのヤカちゃん」 リチャード・ウィルバー 福音館書店 ＜ウィ・幼外＞ ヤカちゃんは四人兄弟^{きょうだい}の末^{すえ}っ子。ヤカちゃん一^{いっか}家は、 ドドさんの家^{いえ}の かべの中に 住^すんでいます、ドドさん たち^しに知られては いけません。ところが、ヤカちゃんは 「やかましや」と言^いわれる位^{くらい}、声^{こえ}が大きいのです。やが て、ドドさん^{いえ}も家^{いえ}の中に ネズミが いること^{きづ}に気付き、ネ ズミとりを しかけることに しました。ところが…。	「エルマーのぼうけん」 ルース・スタイルス・ガネット 福音館書店 ＜ガネ・幼外＞ エルマーは公園^{こうえん}で、年^{とし}よりネコから、どうぶつ島^{とうぶつ}にいる 子どもの竜^{りゅう}の話^{はなし}を聞^ききました。「ちっちゃな子どもの竜^{りゅう}が 空^{そら}から落^おちて、つばさに ケガをしたんだ。その竜^{りゅう}は、い じわるなどうぶつたち^いに つかま^いえられて、一日中^{いちにち} はた らかされている。」とい^いいます。その竜^{りゅう}を 助^{たす}けるために、 エルマーは どうぶつ島^{とう}に 旅^{たびだ}ちます。	「きえた犬のえ」 マージョリー・ W・シャーマット 大日本図書 ＜シャ・幼外＞ ある日、ネートの家^{いえ}に ともだちの アニーから 電話^{でんわ}がかかってきました。せっかく 描^かいた犬^かの 絵^えが なくな^いってしまったから、さがして ほしい と いうこと^{こと}です。 ネートは さっそく、アニーの家^{いえ}で そうさくを はじめました。

「へっちゃらトーマス」 パット・ハッチンス 大日本図書 ＜ハツ・幼外＞ トーマス・ミードくんは、これまで字をおぼえようと したことが ありませんでした。先生にいわれても「かんけいないね」と知らんかお。ある日、とおりを あるいていたら、「きけん ペンキぬり さぎようちゅう」の かんばんが よめず、あたまからペンキをかぶってしまい…。	「きょうりゅうが 学校にやってきた」 アン・フォーサイス 金の星社 ＜フォ・幼外＞ じゅぎょう中、トムがぼんやり、まどの外を ながめながら、きゅうしょくの ことを 考えていたとき、トムの目に信じられないものが うつりました。 きょうりゅう です。 なんと、きょうりゅうが、トムのきょうしつに やってきたので、子どもたちは 大さわぎ。	「やかましむらの子どもの日」 リンドグレーン 偕成社 ＜リン・幼外＞ ある日、2才の シャスティーンと あそぶ「こどもの日」をつくろうと、やかまし村の 子どもたちは きめました。子馬に 乗せたり、ぶらんこを押したりしますが、さいごは 決まって、泣かれてしまいます。でも、やかまし村には、シャスティーンの よろこぶものが、意外なところに たくさんありました。	「ゴインキョと チーズどろぼう」 エミリー・ロッタ あすなろ書房 ＜ロッ・幼外＞ ねずみのゴインキョは、チーズのお宝をどっさり持っています。ある日、「この町をどろぼうがねらっているので、3びきの強いガードマンをやとうことをお すすめします」という手紙が届きました。さっそく、ゴインキョは、ガードマンをやといましたが、ガードマンはゴインキョのチーズを食べ始めました。
「ふたりはともだち」 アーノルド・ローベル 文化出版局 ＜ロベ・幼外＞ がまくんと かえるくんは、ともだちです。はるがきて うれしい かえるくんは、大いそぎで がまくんの家に行きますが、がまくんは まだベットのなか。かえるくんが どんなに おこしても、がまくんは、5月なかばに もう一回きてと言いい、ねてしまいました。かえるくんは、いいことを おもいつきます。	「海べのあさ」 ロバート・マックロスキー 福音館書店 ＜E ウ＞ ある朝、サリーは、歯が1本グラグラしているのに気づきました。心配に なりますが、おかあさんから「大きくなった しるし」といわれ、一安心。海岸にいる おとうさんのところに行って、グラグラしている歯を見せようと、大きく、口をあけたとき、歯が…。	「王さまと九人のきょうだい」 君島 久子／訳 岩波書店 ＜E オ・外国＞ 白いかみの老人がくれた薬のおかげで、子どものいないおじいさんとおばあさんに、九人の赤ちゃんが生まれました。 名まえは、ちからもちに、くいしんぼう、はらいっぱい、ぶつてくれ、ながすね、さむがりや、あつがりや、き切つてくれ、みずぐぐり。このきょうだいが、大きくなったころ、王さまがつぎつぎと むずかしい問題をふっかけてきまふが…	「これはのみのぴこ」 谷川 俊太郎 サンリード ＜E コ＞ 「これは のみの ぴこ」 「これは のみの ぴこの すんでいる ねこの ごえもん」 「これは のみの ぴこの すんでいる ねこの ごえもんの しっぽ ふんずけた あきらくん」 ページを めくるたびに、どんどん文が長くなっていて、さいごには、ぴこのおしんこが…
「スイミー」 レオ・レオニ 好学社 ＜E ス＞ スイミーは、赤い魚のきょうだいの中で、たった1ぴき、黒い体をしています。ある日、大きなマグロが きょうだいを のみこんで しまいました。にげることができたのは、スイミーだけ。1ぴきになったスイミーが、うみの中を およいでいると、自分に そっくりな きょうだいを見つけます…。	「はなのあなのはなし」 やぎゅう げんいちろう 福音館書店 ＜E 4 知識絵本＞ はなのあなって どうなっているの？なんのために あるの？はなのあなには、大きさや形が いろいろあり、はなのあなが 2つある どうぶつもいれば、1つのどうぶつもあります。 そのような「はなのあな」の はたらきについて、くわしく知ることが できます。	「じめんのうえとじめんのした」 アーマ・E. ウェバー 福音館書店 ＜471＞ どうぶつは、じめんの上に すんでいるものも いれば、じめんの下に すんでいるものも います。あなをほって、じめんの上と下の りょうほうで、くらすものも います。しょくぶつは、じめんの上と下の りょうほうにのびていきます。ふだんは、見えないじめんの下の ようすが、ひと目で わかります。	「こいぬがうまれるよ」 ジョアンナ・コール 福音館書店 ＜489.5＞ となりの家に犬の赤ちゃんが生まれたから、1ぴき もらうことになった。名まえはソーセージ。生まれて すぐは、目も見えなくて、耳も聞こえない。でも、おっぱいのすい方は、ちゃんと知っている。 子犬がどのように 大きくなるか、しゃしんでわかります。